

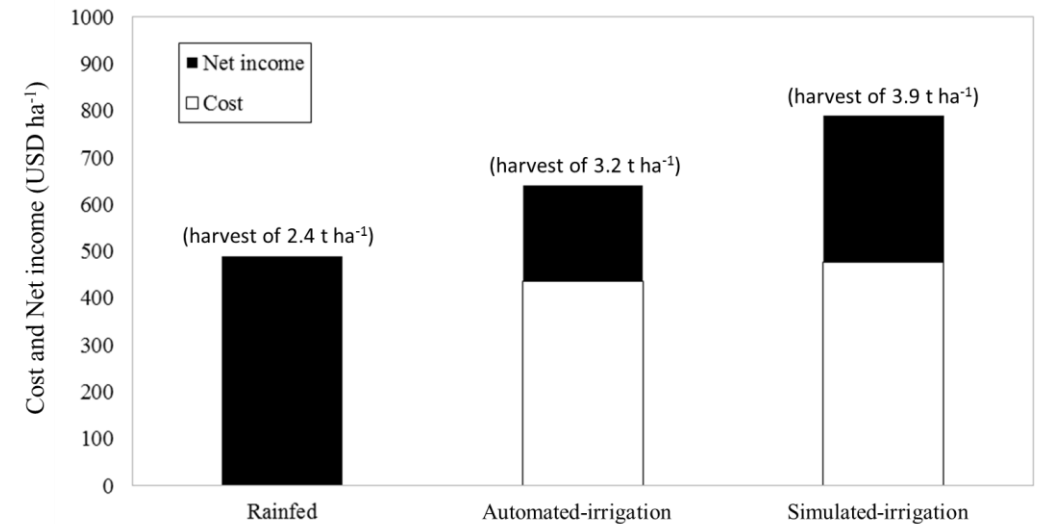
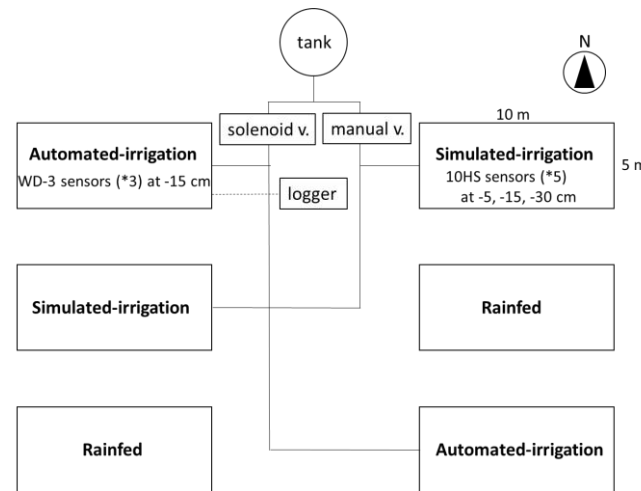
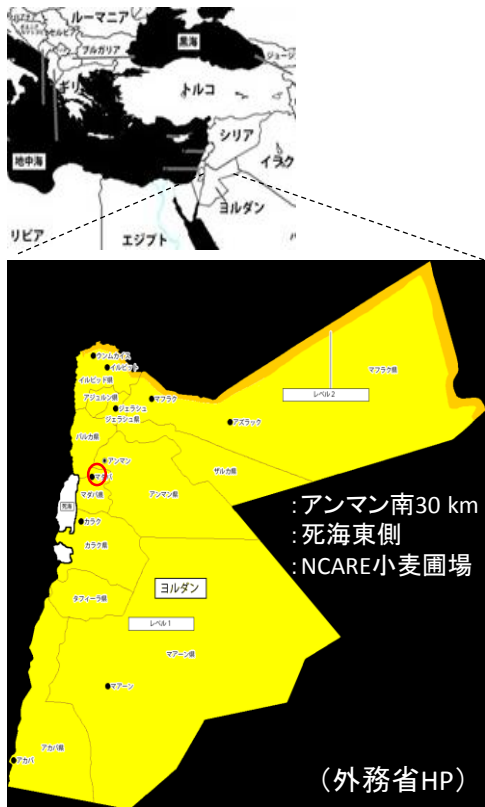
# 半乾燥地域における数値解析で最適化された灌漑条件下での小麦栽培

プロジェクト研究員 坂口 巖

- ：作物生育を考慮した、土壌中における二次元の物質・熱移動に関する数値解析モデル (WASH\_2D)
- ：現地の気象情報および気象予報データ

⇒ (灌漑停止期間中の蒸散量に比例すると仮定した)純収入を最大化させるように毎回の灌水量を最適化させる、**シミュレーション灌漑法**の提示と(日本・チュニジアでの)検証試験の実施 (Fujimaki *et al.*, 2014)

➡ シミュレーション灌漑の有効性がより高まると期待される、半乾燥地域での検証試験の実施 (Nov.2015-Jun.2016)



：シミュレーション灌漑による、収量・粗収入の増大  
：コスト(灌漑水用)の削減が課題